

令和4年度事業報告書

公益財団法人 埼玉県ひとり親福祉連合会

1. 公益目的事業

ひとり親家庭に対して、地域でのお互いの交流、イベントを通じた親子ふれあいの機会の提供、法律相談や技能講習会を通じた生活・就業支援を行うとともにお役立ち情報の提供や各種の研修活動を行った。

(1) 公益目的事業1：母子家庭等交流・生活支援事業

子育て支援セミナー・ひとり親家庭親子ふれあい事業等

県の委託事業として、子育ての不安や生活の悩みを抱えながら地域で孤立しがちであるひとり親家庭等に対し、当事者団体である母子寡婦福祉連合会のマンパワーやノウハウを活用して、地域における交流会、相談会や生活支援講習会の開催を通じて、同じ立場の者の目線で支援を行い、ひとり親家庭の生活向上を図った。

ア 地域相談員の養成

市町母子寡婦福祉会の会員に対し、相談支援を行うにあたり、必要な相談技術や福祉制度に関する研修を開催、修了者には埼玉県交付の「地域相談員証」を交付した。

■令和4年度地域相談員養成研修会

開催日：令和4年4月24日（日）

研修修了者（＝地域相談員）：37人

イー1 地域における交流会の開催

研修を修了した地域相談員が中心となり、県内各地域でひとり親家庭等に対する交流会を開催し、地域で孤立するひとり親家庭等に仲間との交流の場を提供した。4年度もコロナ禍の影響を受けて、従来と比べ減少している。

開催回数 38回 参加者 730人（2人）

*（ ）内は非会員の参加者数

イー2 地域における相談会の開催

交流会や生活支援講習会に参加したひとり親家庭等に対し相談会を実施し、子育てや家庭の悩み事、子の教育、健康上の問題、就労などについて同じ立場の仲間としての目線で親密なアドバイスを行った。4年度もコロナ

禍の影響を受けて、従来と比べ減少している。

開催回数 43回 参加者 772人(5人)

イー3 地域における生活支援講習会の開催

交流会や相談会に加え、子育てや健康に関する講習会を開催し、地域のひとり親家庭等の養育力の向上を図った。4年度もコロナ禍の影響を受けて、従来と比べ減少している。

開催回数 11回 参加者 159人(2人)

イー4 連合会主催「鉄道博物館に行こう！」の実施

期 日 令和5年3月12日(日)

場 所 さいたま市鉄道博物館

参加者 24人

内 容 鉄道博物館見学、家族交流会

イー5 行政への仲介、見守り活動の実施

相談活動の内容に応じて、行政の福祉部門や就業支援施設の紹介などを行った。

イー6 活動支援

事務局職員も相談員として上記の活動を支援した。

ウ 夜間電話相談の開設

昼間は就業しているひとり親への利便性を高めるため、原則第3水曜日の午後5時15分から午後7時に夜間電話相談を行った。

年間開催日数 12日

相談件数 6件

エ ひとり親家庭訪問事業の実施

当連合会の地域相談員を中心に相談業務の手法を学ぶとともに、家庭訪問支援事業への理解を深めるための研修をオンライン研修として開催した。

開催日：令和4年11月27日(日)

講 師：埼玉県児童家庭支援センター・愛泉こども家庭センター相談員
(埼玉ホームスタート推進協議会に所属するホームスタート加須のオーガナイザー) 谷田 清美 氏

テーマ：家族とは何か、親とは何か

～家庭や家族、親に関する価値観と多様性の理解～

参加者：37人

オ 子育て支援セミナー・交流会の開催

収益事業の果実を主な原資として、子育て支援セミナー及び母子寡婦福祉会のない地域のひとり親家庭等を対象とする広域の交流会を開催し、相

互交流の場を提供するとともに、広域母子会入会を呼びかけた。

子育て支援セミナーの開催

■「親子で参加！ 首都圏外郭放水路見学会」

開催日：令和3年8月13日（土）

場 所：地底探検ミュージアム龍Q館（春日部市）

講 師：龍Q館職員

募集人数：親子合わせて22名

※台風のため急遽中止とした。

■クリスマス会の開催

コロナ禍のため例年開催していた集会形式のクリスマス会を中止とし、4年度も協賛企業の品等を詰めて会員の応募者全員に「クリスマスお楽しみボックス」を送付した。

送付数：108家庭（子ども149人）

協賛企業・団体等：NPO 法人チャリティーサンタ、株式会社ロッテ、
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 株式会社ヨシ
ケイ埼玉 等

カ 社会貢献活動への協力

りそな銀行を通じて㈱羅羅屋及び一般の方からの寄付金による新1年生へのランドセル贈呈：2人

ローソン給付型奨学金：奨学生19人

コープ未来財団奨学生募集の周知協力

(2) 公益目的事業2：埼玉県母子・父子福祉センター法律相談等事業

埼玉県ひとり親家庭資格取得応援事業

ひとり親家庭向け研修会開催事業

ア 法律相談

県内4か所の母子・父子福祉センターなどで受けた相談のうち、弁護士による相談を必要とする者に対し、女性弁護士が原則毎月第1・第3水曜日に計12回及び土・日曜日に計12回法律相談を行った。なお、土・日曜日開催の際は保育も行った。出張法律相談として、東部中央福祉事務所（春日部市）、ウェスタ川越（川越市）での開催を設置した。

年間開催日数 24日

うち相談実施 18日

相談件数 30件（他にキャンセル3件）

イ 技能講習（パソコン講習）

就業に結びつく技能講習としてパソコン教室を開催した。平日コースは

2回、休日コースは2回開催した。そのうち3回は定員を上回る応募があったが、コロナ禍のため開催直前のキャンセルが多く、参加者数（延べ124人）は定員（延べ160人）を下回った。なお、休日コース開催の際は保育も行った。

各回の開催内容等は以下のとおりである。

■第1回平日コース：仕事に役立つワードとパワーポイント講座 初級・中級編 & 就業支援セミナー

開催日：令和4年6月9日（木）・10日（金）全2日間

会場：埼玉会館

定員：20人（延べ40人） 参加者延べ30人

■第2回休日コース：仕事に役立つエクセル講座 初級・中級編

開催日：令和4年7月9日（土）・10日（日）全2日間

会場：埼玉会館

定員：20人（延べ40人） 参加者延べ40人

※保育2人利用

■第3回平日コース：選べるワード・エクセル講座

開催日：令和4年10月5日（水）・6日（木）全2日間

会場：坂戸市文化施設オルモ

定員：20人（延べ40人） 参加者延べ22人

■第4回休日コース：仕事に役立つエクセル講座初級・中級編 & 就業支援セミナー

開催日：令和4年11月5日（土）・6日（日）全2日間

会場：埼玉会館

定員：20人（延べ40人） 参加者延べ32人

※保育4人利用

ウー1 就業支援講座

ひとり親家庭の親等の就職時のキャリアアップ支援の一環として、技能（パソコン）講習会全2日間のうち1日に併設して就業支援講座を2回開催した。定員40人に対し29人が受講した。

ウー2 看護学校受験対策講座

看護師として働くことを希望するひとり親家庭の母または父を対象に、正規雇用に関わりやすい看護師・准看護師の資格を取得することを支援する目的で、看護師学校・准看護師学校への合格を支援するために受験対策講座を実施した。

4年度は、看護師養成機関受験コース及び准看護師養成機関受験コースを大宮・川越・越谷（越谷は准看護師養成機関受験コースのみ）の3会場において実施した。

令和5年3月末時点で受講決定者45人、受講前辞退者1人、中退者2人、在籍者数42人、受験者数29人のうち合格者数28人である。

合格者の内訳は看護学校合格者16人、准看護学校合格者12人であった。

■看護学校コース（大宮）

日程：6月12日～12月4日 全20回

会場：東京アカデミー大宮校

講師：東京アカデミー講師

受講決定者：16人

■准看護学校コース（大宮）

日程：6月11日～12月3日 全20回

会場：東京アカデミー大宮校

講師：東京アカデミー講師

受講決定者：9人

■准看護学校コース（越谷）

日程：6月12日～12月4日 全20回

会場：越谷市中央市民会館 ほか

講師：東京アカデミー講師

受講決定者：4人

■看護・准看護学校コース複合型（川越）

会場：東上パールビルディング ほか

講師：看灯個別学院講師

日程：6月5日～12月11日 全20回

受講決定者：11人

■頻出問題特訓講座 看護学校コース（大宮）

会場：東京アカデミー大宮校

講師：東京アカデミー講師

日程：8月21日～8月28日 全2回

受講決定者：2人

■頻出問題特訓講座 准看護学校コース（大宮）

会場：東京アカデミー大宮校

講師：東京アカデミー講師

日程：8月20日～8月27日 全2回

受講決定者：3人

■面接対策講座（大宮・越谷）

会場：東京アカデミー大宮校

講師：東京アカデミー講師

日程：9月25日 全1回

受講者：19人

ウー3 資格取得セミナー

経済的自立に有利な資格の取得を希望するひとり親に対し、資格の業務内容等に関するセミナーをコロナ禍のためオンラインにて開催した。セミナーと併せ、個別就業相談会を実施した。

■「第1部 看護師資格 第2部 介護福祉士資格」

開催日：7月31日（日）

参加者：延べ34人

個別就業相談会（参加者3人）

ウー4 合格体験発表会

看護学校受験予備校スタッフによる講演と受験対策講座の受講者による合格体験発表会をオンラインにて開催した。

開催日：令和5年3月25日（土）

参加者：延べ19人

エ ひとり親家庭向け研修会（公益2-2）

■第1回：令和5年1月29日（日）

形式：オンライン開催

内容：不登校・ひきこもりの子どもたちに周りの大人ができること

講師：非特定営利活動法人 越谷らるご理事長 鎌倉 賢哉氏

参加者：16人

■第2回：令和5年2月26日（日）

形式：オンライン開催

内容：子育てや、職場での人間関係が楽になる 上手な気持ちの伝え方
～アサーティブ・コミュニケーション講座

講師：特定非営利活動法人アサーティブジャパン認定講師
寺地 典子 氏

参加者：9人

(3) 公益目的事業3：情報提供活動・研修会参加・市町村団体助成事業

ア 情報提供

○会報誌の発行

会報誌「かるがも通信」を年2回発行した。

発行部数：2,000部/回

配布先：市町母子寡婦福祉会、関東地区母子寡婦福祉団体、
市町村役場、社会福祉協議会等

○ホームページによる情報提供

当連合会に加盟する母子寡婦福祉会の個別活動予定や結果の報告を掲載し、母子寡婦福祉会の魅力を伝えた。

看護学校受験対策講座、資格取得セミナーを始め、技能講習会（パソコン教室）や各種ひとり親家庭等向けの行事案内、奨学金の案内など有益な情報を提供した。併せて、公式ラインを使って素早く簡単に情報を入手できるように取り組んだ。

○「令和4年度事業概要」の作成

発行部数：150部

配布先：各市町母子寡婦福祉会、関東地区母子寡婦福祉団体、社会福祉協議会他

イ 各種研修会への参加

■令和4年度関東地区母子寡婦研修大会会長等会議（埼玉県）

※コロナ禍のためオンラインにて開催した。

■令和4年度関東ブロック母子寡婦福祉大会（埼玉県）

※コロナ禍のため誌面開催とし、約200名が参加した。

■令和3年度全国母子寡婦福祉研修大会（滋賀県）

※コロナ禍のため近畿地域の母子寡婦団体は参加、他の地域はオンラインでの参加となった。母子部副部長が当連合会代表として発表、参加をした。

■令和4年度全国母子福祉指導者研修会・母子部長研修会（大田区）

※母子部長が母子部長研修会に参加した。

ウ 市町村団体助成

（ア）市町村母子寡婦福祉団体助成

財政基礎の弱い福祉会に対する活動費の助成 2団体（川口市鳩ヶ谷地区、小川町）

上限1万円

2. 収益事業

基本財産である母子福祉会館（さいたま市浦和区高砂2-15-3）の賃貸（4月から9月）及び物資の斡旋を行い、その利益を公益目的事業会計及び法人会計に振替えて、公益的自主事業及び法人運営の円滑化を図った。

（1）母子福祉会館経営事業（収益1）

基本財産の母子福祉会館（さいたま市浦和区高砂2-15-3）については、昭和33年に建てられた建物であり、かねてより賃貸者（埼玉県手をつなぐ育

成会等)から老朽化による耐震が懸念されていた。耐震診断を行ったところ危険であることが判明し、理事会及び評議員会において検討した結果、取り壊しすることになった。令和4年10月に解体し、土地は地主に返却した。

(2) 物資の斡旋等事業 (収益2)

ア 観劇会の開催

収益事業の一環として会員及び非会員を対象に観劇会を開催した。

開催日：令和4年9月～10月 明治座公演 参加者数12人
令和5年2月 新橋演舞場 参加者数 5人

イ 母子寡婦福祉手帳 97冊

ウ 物資斡旋 (そうめん、めんつゆ等)

エ 清涼飲料水自動販売機の設置 7台

3. 法人運営

公益財団法人として、法人運営を行った。

(1) 理事会の開催

- 第1回定時理事会 令和4年5月28日(土) すこやかプラザ
- 第2回臨時理事会 令和4年10月16日(日) すこやかプラザ
- 第2回定時理事会 令和4年3月5日(日)
With Youさいたま

(2) 評議員会の開催

- 第1回定時評議員会 令和4年6月12日(日) 書面議決
- 第1回臨時評議員会 令和5年3月26日(日) すこやかプラザ

(3) 公益法人認定法に基づき定期提出書類の届出

定期提出書類

- 事業報告等 令和4年6月30日(火)
- 次年度事業計画等 令和5年3月28日(火)

(4) 正副会長会議

- 第1回定時理事会 令和4年5月28日(土) すこやかプラザ
- 第2回臨時理事会 令和4年10月16日(日) すこやかプラザ
- 第2回定時理事会 令和4年3月5日(日)
With Youさいたま

(5) 母子部活動

- ア 第1回母子部幹事会 令和4年4月24日(日)

埼玉会館

- イ クリスマス会実行委員会 令和4年12月19日（月）
埼玉県浦和合同庁舎
- ウ 第2回母子部幹事会 令和4年12月19日（月）
埼玉県浦和合同庁舎
- エ 令和4年度母子部長全国研修会（大田区）
令和5年3月12日（日）母子部長出席

オ 広域会員の動向

昨年度に引き続き、令和4年に県内の農家の方から寄附として頂いた玄米をもとに、中学生の子どもを育てている家庭に対し精米（5キログラム）をプレゼントする「頑張れ！中学生支援米プレゼント」を5月に実施、32家庭に贈呈した。

「子ども夢基金」を活用した助成活動として、令和4年12月10日（土）狭山スキー場にて「スキー教室と雪遊び体験」を実施し、親子26人が参加した。

○会員数122人（令和5年4月末日現在）、新規加入者43人

（6）諸団体への役員等の派遣

ア 評議員の派遣

- ・埼玉県社会福祉協議会
- ・全国母子寡婦福祉団体協議会

イ 審議会への派遣

- ・埼玉県児童福祉審議会

ウ 行事への参加

- ・社会福祉関係者新年賀詞交歓会 開催の中止

（7）その他

令和4年3月1日から名称変更し、「埼玉県ひとり親福祉連合会」となった。それに併せて、親しみやすい愛称を公募し、いくつかの候補の中から地域相談員等の意見を聞きながら検討した結果「かるがもの会」に決定した。日頃の活動は、この愛称を使用しているところである。